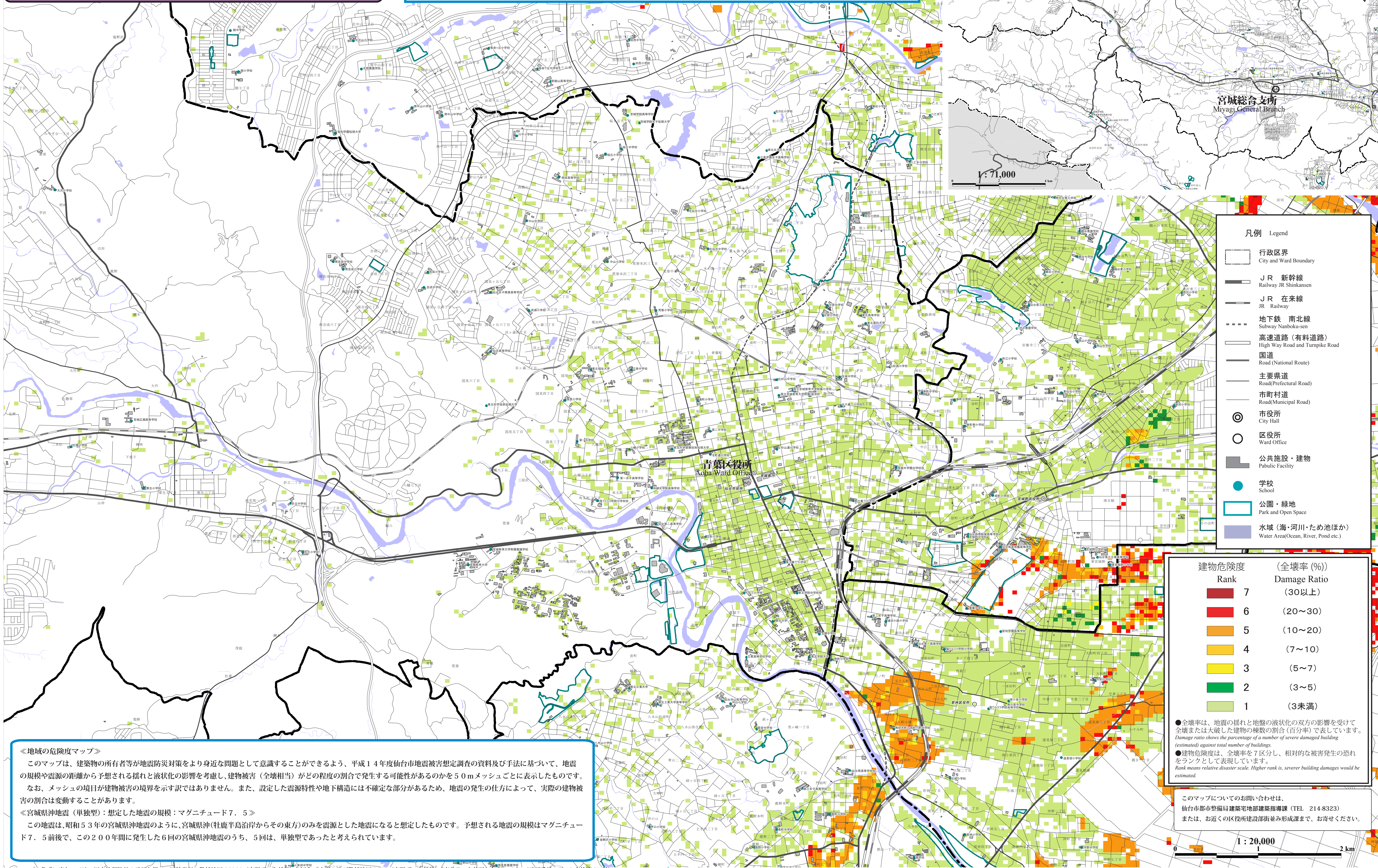
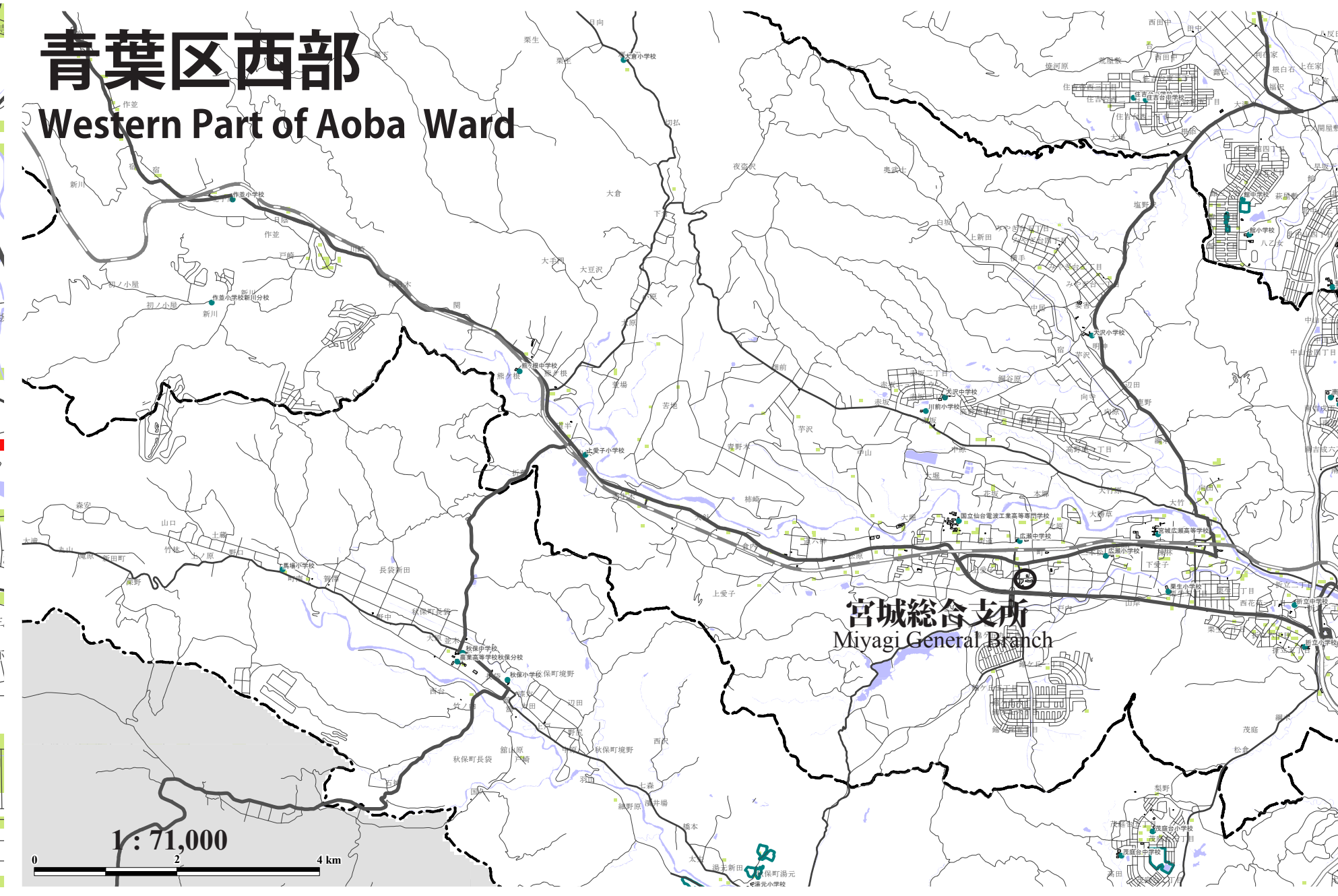


仙台市地震ハザードマップ Earthquake Hazard Map 青葉区版 Aoba Ward

宮城県沖地震（単独型）による建物被害想定分布図 (地域の危険度マップ)

Building Damage Risk Map for the Reoccurrence of the 1978-type Miyagiken-Oki Earthquake

青葉区西部 Western Part of Aoba Ward



- 凡例 Legend
- 行政区界 City and Ward Boundary
 - J R 新幹線 Railway JR Shinkansen
 - J R 在来線 JR Railway
 - 地下鉄 南北線 Subway Nanboku-sen
 - 高速道路(有料道路) High Way Road and Turnpike Road
 - 国道 Road (National Route)
 - 主要県道 Road(Prefectural Road)
 - 市町村道 Road(Municipal Road)
 - 市役所 City Hall
 - 区役所 Ward Office
 - 公共施設・建物 Public Facility
 - 学校 School
 - 公園・緑地 Park and Open Space
 - 水域(海・河川・ため池ほか) Water Area(Ocean, River, Pond etc.)

建物危険度 Rank	全壊率(%) Damage Ratio
7	(30以上)
6	(20~30)
5	(10~20)
4	(7~10)
3	(5~7)
2	(3~5)
1	(3未満)

●全壊率は、地震の揺れと地盤の液状化の双方の影響を受けて全壊または大破した建物の棟数の割合(百分率)で表しています。Damage ratio shows the percentage of a number of severely damaged building (estimated) against total number of buildings.
●建物危険度は、全壊率を7区分し、相対的な被害発生を恐れをランクとして表現しています。Rank means relative disaster scale. Higher rank is, severer building damages would be estimated.

このマップについてのお問い合わせは、
仙台市都市整備局建築宅地部建築指導課 (TEL 214-8323)
または、お近くの区役所建設部街並み形成課まで、お寄せください。

《地域の危険度マップ》
このマップは、建築物の所有者等が地震防災対策をより身近な問題として意識することができるよう、平成14年度仙台市地震被害想定調査の資料及び手法に基づいて、地震の規模や震源の距離から予想される揺れと液状化の影響を考慮し、建物被害（全壊相当）がどの程度の割合で発生する可能性があるのかを50mメッシュごとに表示したものです。なお、メッシュの境目が建物被害の境界を示す訳ではありません。また、設定した震源特性や地下構造には不確定な部分があるため、地震の発生仕方によって、実際の建物被害の割合は変動することがあります。
《宮城県沖地震（単独型）：想定した地震の規模：マグニチュード7.5》
この地震は、昭和53年の宮城県沖地震のように、宮城県沖(牡鹿半島沿岸からその東方)のみを震源とした地震になると想定したものです。予想される地震の規模はマグニチュード7.5前後で、この200年間に発生した6回の宮城県沖地震のうち、5回は、単独型であったと考えられています。

このマップの作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(空間データ基盤)「宮城」「山形」及び数値地図2500(空間データ基盤)「東北II」を使用しました。(承認番号 平19東使第21号)